

令和3年度における歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 生涯学習推進課

(令和4年度からスポーツ・文化財振興課)

評価対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

評価委員会開催日：令和4年9月21日

1 指定管理者

指定管理者	株式会社地域文化財研究所
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
施設概要	発掘調査による埋蔵文化財資料や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料を多く収蔵し、それらを展示、公開するとともに、民話の紹介、イベントの開催やリーフレットの発行などにより、郷土の歴史や文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	11,363,000円（令和3年度、税込み）

2 管理運営の内容

項 目	令和3年度の状況
運営状況	（1）平等利用の確保 ①職員に対する接遇教育や、案内資料の整備、ミーティングを通じた意思統一などにより来館者への平等で均一なサービスの提供に努めた。 ②車椅子で来館の方は介助者と来館されるため、職員は介助の妨げにならないよう配慮した。障がい者が使いやすい共用トイレがあるので、トイレ使用目的の方も多く、公共施設としての役割を果たした。 （2）自主事業の展開 ①施設の特色を生かし、目的に沿ったイベントを重点に計画したが国の緊急事態宣言発出のため中止があり、博物館実習やキッチンブーケ作りの年間2件の自主事業を実施した。また教育委員会との共催事業（年間5件）についても全面的に協力した。 （3）施設の情報提供 ①ポスター、市広報誌、当館HPなどにイベント情報を掲載。 （4）安全確保対策 ①災害の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先の掲示などを行った。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日から6月20日まで市教育委員会の指導のもと臨時休館した。また、令和3年8月2日から9月30日まで団体見学の人数を制限した。 ③スタッフ全員でAED講習を受講した。
維持管理状況	（5）保守点検 ①各設備の稼動状況に合わせた最適なメンテナンス計画を立て実施した。 ②考古資料展示室のスポットライトレールの接触不良のためレールの一部を取替修繕。 ③階段部分及び踊り場の塩ビシート貼り替え工事。 ④展示室移動ケース蛍光灯機器の職員による修繕・溶接。 ⑤職員による機器の状況点検など効果的な維持保全に努めた。 （6）清掃業務 ①通常の清掃業務に加え、自主的に館周辺の草刈や清掃を実施した。 （7）警備業務 ①通常の機械警備に加え、災害やトラブル発生の際、緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先及び緊急連絡対応体制の掲示を行った。 （8）環境への配慮 ①年間を通した空調温度の見直し、OA機器の適正使用、こまめな消灯の

	実施など、環境保全の推進と経費削減に努めた。 ②ゴミ箱の共用化、種類別の設置などによりゴミの分別と少量化に努めた。								
利用状況	【4月25日から6月20日まで、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館】 続日本百名城のスタンプラリーが行なわれるなど府外からの注目もあり、市内はもとより市外からも来館者があった。来館者は必要に応じ指定管理者職員による展示内容の解説でゆっくりと見学し、四條畷の歴史を広くPRすることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの全体として入館者数は回復傾向にある。 <table> <tr> <td>・学校・保育所</td><td>0人(増減なし)</td></tr> <tr> <td>・一般団体</td><td>617人(67.2%増)</td></tr> <tr> <td>・個人</td><td>3809人(4.8%減)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>4426人(1.3%増)</td></tr> </table> ※開館日数 227日	・学校・保育所	0人(増減なし)	・一般団体	617人(67.2%増)	・個人	3809人(4.8%減)	合計	4426人(1.3%増)
・学校・保育所	0人(増減なし)								
・一般団体	617人(67.2%増)								
・個人	3809人(4.8%減)								
合計	4426人(1.3%増)								
収支状況	当年度収入 11,383,768 円（指定管理料収入:11,363,000 円、自主事業収入:20,768 円）に対し、支出 11,366,915 円、収支は 16,853 円の黒字。								

3 利用者へのアンケート調査

項 目	令和3年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日 調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう 回答件数：134件
調査の結果	どちらから来館したか：市内53人（40%）、市外81人（60%）。 他府県として奈良県・愛知県・愛媛県あり。 スタッフの対応：「満足」が85% 「やや満足」を含めると97%、「普通」3%。 展示の解説への対応：「分かった」が57% 「だいたい分かった」42%、「余りわからなかった」1%。
主な苦情・意見等	【意見・要望、イベントの希望など】 ○ 小学生以下 1. 色々なものがあって楽しかったです。また行きたいです。（市内小学生の女性） 2. 前にあったぬりえや、花を利用したイベントなどがあればうれしいです。（市内小学生の女性） ○ 中学・高校生 1. 前にあったぬりえ、しおりのイベント。（市内中学生女性） ○ 19～39歳 1. 大河ドラマ「麒麟がくる」をきっかけに、三好長慶さんに興味を持ちました。今回三好さんに関する展示が見られて勉強になりました。入館料が無料でびっくりしました（笑）。（吹田市の女性） 2. 展示もわかりやすく、ただ展示品を置くだけでなく時系列に沿った丁寧なイラストもあり飽きることなく見る事ができました。（茨木市の男性） 3. 始め資料館と聞いていたので、あまり感じは無かったが、スタッフの対応が良くて、弥生時代の魅力に引かれていきました。あと絵がすごくうまいです！（東大阪市の男性） ○ 40～59歳 1. 以前より展示物が見やすく（立体的な絵もかわいい）イメージをふくらませやすくなったと思います。

	自分がリアルに体験しているかのように楽しい。親しみやすいので、楽しい場所としてまた来たくります。(市内の女性) おうまさんさんがかわいかったです。たのしいかったです。(子供さんの意見) 2. 河内キリシタンに大変興味あるのでイベントや講演をしていただけると大変ありがたいです。(市内の男性) ○ 60歳以上 1. 四條畷市にこのような資料館があるのはとても意義深いと思います。ふと昔のこの地はどうだったんだろうと思うことがあり、ロマンを感じます。今後も充実した展示内容を続けて下さい。(枚方市の女性) 2. 館長の説明はユーモアを交えてわかりやすく、楽しかった。(市外の男性) 3. コロナ禍で久しぶりに開館したので来ました。むつかしい面が多いけど、イベントをどんどんやってほしい。 それと「長慶」と「楠公」の大河ドラマ化を大東市と合同で進めてほしい。(大阪市城東区の男性) 4. 館主催の催しがあれば参加したい。今日の講義は大変興味深いものでした！佐野女史の絵も感動です。(寝屋川市の男性) 5. 毎回、御丁寧に説明をいただき、ありがとうございます。御座います。解りやすいです。(寝屋川市の女性)
--	---

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	来館者へのアンケート調査結果によると、スタッフの対応については97%の方が「満足」・「やや満足」という結果であった。また展示の解説への対応も99%の方が「分かった」「だいたい分かった」という結果で、来館者の評価が非常に高い点が評価できる。 施設の運営面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き利用がなかった学校・保育所をはじめ、個人利用も減少が続くなか、団体利用を回復させ可能な範囲でPRを行うとともに、市が実施する資料貸し出しなどへ全面的に協力しており、市担当部局との連携が十分である。 施設の管理面では、施設内にとどまらず周辺の清掃も実施し周辺環境に配慮している点などが顕著であり評価できる。 情報提供について、市外のみならず市民へもさらに周知が必要で、HP などに加え、教育委員会と共同で SNS などを活用して貴重な歴史遺産についての情報発信に努めていただきたい。 以上の内容から「計画内容をやや上回るため努力している」と判断し、評価を「4」とする。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果(担当部局として非常に満足できる結果)
- 4 計画内容をやや上回る結果(担当部局として満足できる結果)
- 3 計画内容どおりの結果(担当部局として妥当と判断する結果)
- 2 計画内容をやや下回る結果(担当部局として不満が残る結果)
- 1 計画内容を下回る結果(担当部局として非常に不満が残る結果)